

令和6年度第1回 感染症発生動向調査協議会
議事要旨

1 日 時 令和6年4月17日（水） 14：00～

2 場 所 岐阜大学医学部本館 1階 入札室（岐阜市柳戸1-1）

3 出席者

委 員：馬場 尚志（岐阜大学医学部附属病院 生体支援センター センター長）

大西 秀典（岐阜大学大学院医学系研究科 小児科学 教授）

澤田 明（岐阜大学医学部附属病院 眼科 臨床准教授）

大野 元（岐阜県産婦人科医会 理事）

石山 俊次（石山泌尿器科皮膚科）

オブザーバー：市原 拓（岐阜市保健所 感染症対策課 感染症対策係長）

事務局：八代 英彦（感染症対策推進課 感染症対策監）

高柳 瑛余（感染症対策推進課 主任技師）

村瀬 真子（保健環境研究所 所長）

野池 真奈美（保健環境研究所 主任専門研究員）

岡 隆史（保健環境研究所 主任専門研究員）

4 議 題（進行：馬場委員、STI：石山委員）

（1）前月の感染症発生動向について

（2）検討すべき課題について

（3）情報提供すべき事項

（4）情報提供（月番委員専門分野から）

（5）その他（感染症対策推進課から）

5 議事要旨

【前月の感染症発生動向について】

- ・事務局からの説明は資料のとおり。
- ・月番委員のコメントについては資料のとおり。

【検討すべき課題について】

○COVID-19に対する感染症発生動向調査結果の評価・解釈・フィードバック等について

- ・現在COVID-19の流行は収まりつつありますが、今後また必ず流行は起こると思います。同感染症に対して国の定める注意報・警報の基準値は出されていませんが、流行の兆候をとらえて注意喚起を早期に行うことが重要だと考えています。

○梅毒の増加が続く要因について（対策・啓発等を含め）

- ・昨今のデータをみると、若年層男女への啓発にもっと注力する必要があるのではないかと考えています。高校や大学への広報活動をなお一層行うことはできないでしょうか。
- ・岐阜県としては今後、成人式や大学の学園祭などの機会をとらえて、若年層に対する性感染症の啓発活動を行っていく方針です。